

記入例

令和〇年1月15日 長野県上伊那郡南箕輪村長 藤城 栄文 様		令和 〇 年度 償却資産申告書（償却資産課税台帳）		※所 有 者 コ ー ド	
住所 〒399-4511 南箕輪村〇〇〇〇番地 電話（ 0265-72-2104 ）		個人番号又は法人番号		8～14は、該当する事項に ○ ☐ 無	
氏名 株式会社まっくん 代表〇〇〇〇 屋号（		事業種目 （資本等の金額） 〇〇製造業 （ 10 百万円）		9 増加償却の届出 有・ ☐ 無	
税理士等の氏名 税理士 △△花子 電話（ 12-0000）		事業開始年月 25 年 1 月		10 非課税該当資産 有・ ☐ 無	
この申告に回答するものの係及び氏名 経理 〇〇太郎 電話（ 12-1234）		11 課税標準の特例 有・ ☐ 無		12 特別償却・圧縮記帳 有・ ☐ 無	
13 税務会計上の償却方法 定額法・ ☐ 定率法		14 青色申告 有・ ☐ 無			
資産の種類		取得価格		15 村内における事業所等資産の所在地	
前年前に取得したもの（イ）		前年中に減少したもの（ロ）		前年中に取得したもの（ハ）	
計（（イ）+（ロ）+（ハ））（ニ）					
1 構築物		10 億 百万 千 円		10 億 百万 千 円	
2 機械及び装置		30 000 000		10 000 000	
3 船舶					
4 航空機					
5 車両及び運搬具		4 900 000		5 000 000	
6 工具、器具及び備品		48 000 000		600 000	
7 合計		97 900 000		23 000 000	
		10 600 000		24 000 000	
				111 300 000	
16 借用資産（有・ ☐ 無）		貸主の名称		17 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家	
18 備考（添付書類等）		資産無し			

変更、修正がある箇所は、二重線で消して

法人にあってはその名称及び代表者の氏名

㊞が廃止されたため、押印は不要

減少した資産分はこちらへ記載

増加した資産分はこちらへ記載

前年の申告内容の訂正がある場合は、二重線で消して訂正してください。

（ロ）（ハ）欄の数値は、種類別明細書（増加資産、減少資産）の記入数値と一致します。

（自社の電算機により全資産申告される方以外は記載しないでください。）

・該当する資産がない場合は、「資産なし」と記載
・廃業などの場合は、「廃業」「村外移転」等と記載

※印の欄は記入の必要がありません。

記入例

種類別明細書(増加資産・全資産)

令和 ○ 年度

種類別明細書(増加資産・全資産用)

①→ 所有者コード		種類別明細書(増加資産・全資産用)												所有者名		枚のうち												
②↓	③↓	④↓	⑤↓	⑥↓			⑦↓				⑧↓	〇〇〇〇〇〇				⑨↓	目											
行 番 号	資産 の 種 類	資産 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取得年月			取得価額				耐 用 年 数	減 価 残 存 率	価 額				課税標準の特例		課 税 標 準 額				増 加 理 由	旧 耐 用 年 数			
					年 号	年	月	十 億	百 万	千	円			十 億	百 万	千	円	率	コード	十 億	百 万	千	円					
01	1		アスファルト 舗装	1	5	3	3	十 億	百 万	千	円	1	0.000	000	10	0.	十 億	百 万	千	円			十 億	百 万	千	円	①・2 3・4	
02	6		コピー FT5520	2	5	3	5					13	000	000	5	0.										①・2 3・4		
03	6		コピー AAA100	2	5	3	5					10	000	000	5	0.										①・2 3・4		
04															0.										1・2 3・4			
05	2	1800101													10	0.									1・2 3・4	12		
06															0.										1・2 3・4			
07																												
08																												
09																												
10																												
11																												
12																												
13																												
14																												
15																												
16																												
17																												
18															0.										1・2 3・4			
19															0.										1・2 3・4			
20															0.										1・2 3・4			
小 計								24,000,000																				

1～6の資産の種類ごとに
合計した額を、申告書(ハ)
へ記載してください。

修正する場合は、申告内容が
記載されている種類別明細書
を修正して提出してください。
※修正する資産分をここへ記
載して提出しても結構です。

(記 載 方 法)

- ① 所有者コード 記載の必要はありません。
 - ② 資産の種類 参考資料を参照し、種類に応じて1～6を必ず記載してください。
 - ③ 資産コード 修正の場合のみ記載してください。
 - ④ 資産の名称等 資産の名称を記載してください。
 - ⑤ 数量 資産の数量を記載してください。
 - ⑥ 取得年月日 年号=令和は5、平成は4を記載してください。
 - ⑦ 取得価額 必ず記載してください。
 - ⑧ 耐用年数 国税における耐用年数表(財務省)を参考に、必ず記載してください。
 - ⑨ 増加事由 下欄を参考に、必ず○を付けてください。
- ※ 修正する場合は、修正する個所のみ記載してください。

注意 「増加理由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他のいずれかに○印を付けてください。

(増加資産の例)

← (年数の修正の例)

記入例

種類別明細書(減少資産)

第二十六号様式別表二(提出用)

令和 ○ 年度		種類別明細書(減少資産用)										所有者名		1枚のうち	
①→ 所有者コード												〇〇〇〇〇		1枚目	
②↓ ③↓ ④↓		⑤↓ ⑥↓ ⑦↓													
行 番 号	資 産 の 種 類	抹 消 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取得年月			取 得 価 額	耐 用 年 数	申 告 年 度	減 少 の 事 由 及 び 区 分				摘 要
					年 号	年	月				1 売 却	2 減 失	1 全部	3 移 動	
01	2	1200201						十億 百万 千 円			1 ・ ② ・ 3 ・ 4	① ・ 2		← (全部減少の例)	
02	6	1200315		3				600,000			① ・ 2 ・ 3 ・ 4	1 ・ ②		← (一部減少の例)	
03											1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	1 ・ 2			
04											1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	1 ・ 2			
05											1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	1 ・ 2			
06											1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	1 ・ 2			
07											(記 載 方 法) ※前年度申告内容の「種類別明細書」を参考にしてください。 ① 所有者コード 記載の必要はありません。 ② 資産の種類 参考資料を参照し、種類に応じて1～6を必ず記載してください。 ③ 抹消コード 減少する資産の資産コードを必ず記載してください。 ④ 資産の名称等 記載の必要はありません。 ⑤ 数量 一部減少したときのみ、減少した数量を記載してください。 ⑥ 取得価額 一部減少したときのみ、減少した価額を記載してください。 ⑦ 減少の事由及び区分 内容に応じた番号へ、必ず○をしてください。 ※4「その他」の場合は、摘要欄に内容を記載してください。				
08															
09															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17											1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	1 ・ 2			
18											1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	1 ・ 2			
19											1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	1 ・ 2			
20											1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	1 ・ 2			
小 計															

1～6の資産の種類ごとに
合計した額を、申告書(口)へ
記載してください。